

vol.2

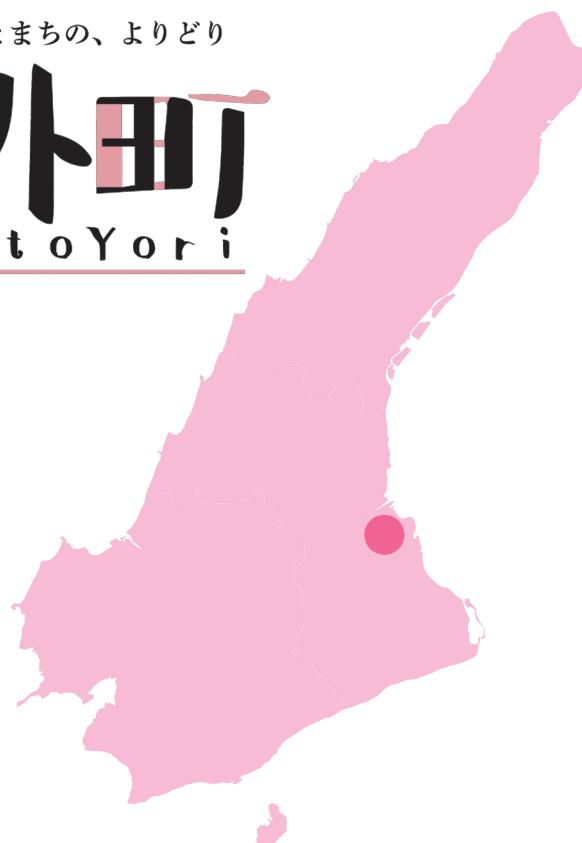
令和2年3月26日



淡路島洲本市の外町地域を
ゆるやかに盛り上げる

そとまちの、よりどり

外町
SotoYori



洲
sumoto
本

参加者募集!

毎月第3火曜日
午後7~9時開催

よりあいそとまちSUMOTO

~ヒトとコトがよりあうマチへ~

開催場所:ラ・パレット(コモード56商店街内)

毎月1回、この町の未来について考える。そんな会が20回以上、続いているのをご存知ですか?地元の商店街の店主、この町で生まれ育った人、この町に働きに来ている人、この町に移住をしてきた人。前半はヒアリング、後半はプロジェクト。みんなの「やってみたい!」が集まって、いろいろな取り組みが、外町を舞台として生まれているんです。初めましての方も大歓迎! あなたも外町を応援する仲間になりませんか?

ヒアリングで町の声を聞く!

町で暮らす人、町を応援する人の活動に耳を傾け、みんなで学んで、みんなで応援しちゃいます!



2019. 4. 16(火) 映画編	大継 康高さん (うみぞら映画祭)
2019. 5. 21(火) 神社・祭り編	酒井 一成さん (洲本八幡神社)
2019. 7. 16(火) アトリエ編	山田 宗宏さん (アトリエチーム)
2019. 9. 17(火) 弁天まつり編	浦上 雅史さん (厳島神社)
2019. 10. 15(火) 地域ラジオ編	はる&はるおさん (淡路島にんぎやかSTATION)
2019. 11. 19(火) FC淡路島編	赤堀 元紀さん (FC淡路島)
2020. 1. 21(火) そとまちの職人編	久保田 富也さん (さのや旗染物店)
2020. 2. 18(火) 副市長と語ろう編	上崎 勝規さん (洲本市副市長)
2020. 3. 17(火) 新しくお店を始めた人編①	大東 直子さん (アジュガ) 西村 紋さん (mong curry)

プロジェクトで町を元気にする!

あなたの「やってみたい!」が形になる、12のプロジェクトが進行しています!



リトルプレス

そとまちを歩くときには、必ず手に入れたい! 地域の魅力を伝えるフリーペーパーが完成。次号も順調に制作中です。



公園

桜の名所・曲田山の賑わいを取り戻そう! 登り口から山上まで、灯りが連なる景色にしよう! と「ぼんぼり」増設に取り組んでいます。



盆踊り

そとまちの元気を生み出す起爆剤として8月14日に12年ぶりに復活。毎年の地域の恒例行事にしようと今年も計画中。



映画

そとまちで暮らす人々の思い出や記憶を、未来に残す小さな映画が完成。その活動はケーブルテレビでも紹介されました。



アトリエ

洲本のアートの拠点として8丁目の菓局の跡地が大変身。淡路島で生まれたアート作品や島内の芸術家を紹介ホームページも開設予定。



市場

無くなってしまう公設市場の代わりとして、高校生や地域を巻き込んだ毎月第3土に朝市を開催。オープン前には大行列も。



FC淡路島

「負けたら解散」をスローガンに淡路島を盛り上げるサッカーチームが仲間に。みんなで彼らを応援し、地域に活力を!



空き家

人と人との集いを生み出すため、買い物が難しくなっている人を助ける場として、空き家の利活用方法を検討中。



ユニバーサル

全国でも珍しいほど坂道が少ない「そとまち地域」。どんな人でも暮らしがしやすい町をみんなで作っていきます。



キャッシュレス

外町のお店にもっと多くのお客様に来てもらうため、キャッシュレス文化を広げるためのキャンペーンを仕掛けます。



そとまちテレビ

高校生に外町の魅力を伝えるケーブルテレビでのテレビ番組を計画中。洲本実業高校と淡路島テレビジョンと連携。



そとまち大学

地域で暮らす大人も子ども先生や生徒にもなる! みんなが興味のあること、得意なことを授業として伝えよう。一日だけのブチ大学を計画中!

よりあいそとまちSUMOTO

洲本市の外町。お城の堀のそとにある、ちょっとレトロな商店街とお寺のまち。

この町の未来について考える。

山と川に囲まれた私たちの町・外町。

地元の商店街で働く人。

この町で生まれ育った人。

神戸や大阪、広島から移住した人。

この町には、外町を愛する人が驚くほど、いっぱいいます。

地元愛がいっぱい詰まった外町。是非とも、この町で、人の優しさに触れてみてください。

きっと、あなたも外町が好きになる。

P3 よりあいそとまちSUMOTO
~ヒトとコトがよりあうマチへ~

P4~5 “出口商店”的美味しさのヒミツ!

P6~8 洲本城下町こぼれ噺(其の二)

P9 桜の名所・曲田山の魅力倍増プロジェクト、始動!

P10~11 外町には貴重なお庭がいっぱい!
~下屋敷庭園群~

P12~13 魅力いっぱいの外町を歩こう!

P14~15 そとまちエリア散策マップ

P16 よりあいそとまちSUMOTO
~イベント&ニュース~



店内に入つてすぐに香ばしい「いりこ」の香りが。1860年（万延元年）より続く老舗、出口商店はいりこを中心にお海産物を取り扱う人気店。いりこやちりめんの量り売りをはじめ、淡路島産のわかめや海苔、ひじきなど、常時30種類ほどの海の幸が並びます。



出口商店の主力商品は「いりこ」。その品質へのこだわりは強く、瀬戸内近隣の商品を160年間受け継がれてきた目利きで選び、上質な商品でも、出汁は日本の伝統であり、普段使いで気軽に利用してもらえるようリーズナブルな価格で昔ながらの「量り売り」で提供されています。

そのいりこを東京・日本橋にある洲本市のアンテナショップ「日本橋室町 すもと館」でも取扱い中。いりこ出汁といえば関東では馴染みの薄いですが、山盛りのいりこを味見できるスタイルに好評を得ています。

外町になくてはならない海産物問屋
り添つておられる気持になります」といいます。しばらく来店されな
いお客様がいらっしゃると心配になつてしまふそうです。長年お付
き合いをしている内に、お客様の細かな味の好みまで把握している
本当の地域密着店です。



創業万延元年 海産物問屋 出口商店
〒656-0025 兵庫県洲本市本町5丁目2-18
TEL:0799-22-0979 FAX:0799-24-3451
<https://deguchi-awaji.jp/>
木曜定休

いりこが 東京にある洲本市の アンテナショップでも 大注目！

外町になくてはならない 海産物問屋

東京・日本橋にある洲本市のアンテナショップでも大注目！人気商品を生み出す伝統の技！



400年の歴史をタイムトリップ

洲本城下町 こぼれ嘶 (其の二)

前号は握端筋のことを中心に紹介しました。今日は握を見てしましよう。



図1 安政3年の城下町絵図 外町

図3 外堀と矢倉台『未地草』より

文

本城北東隅の石積みの美しい矢倉は、大浜公園の入口近くにある洲因みに矢倉台のイメージとして

は、洲本川の流れが直接外堀に影響しないような仕掛けと思われます。

矢倉台と四丁目枡形

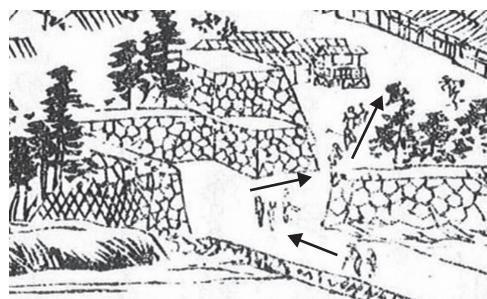


図4 四丁目枱形『淡路国名所図会』より



しおやばし
塩屋橋と物部橋
ものべばし

先にも書いたように、洲本城下町は東は海に面し、南には山がそびえ、北には塩屋川、西には物部川が流れ、堀の役目をしていました。城下町に入るには、塩屋川、物部川を渡らなければなりません。図1の絵図を見てください。

城下町の内町へと入るには幅25mの外堀に架かつていた農人橋と四丁目土橋の二力所だけでした。では洲本城下町全体を見たときには、洲本城下町への入り口はどううつさうつござんぐる。

矢倉台、四丁目枡形とともに城の威儀を示すものですから堀端筋がら堀の向こうの内町を堀越しになると、矢倉台、土手松、枡形、土手松が500mに涉つて広がり、内町全体がお城の様に見えていたことでしょう。

る最終防衛線としての堀で、外堀は内町を含めた区域の防御のための堀。さらに外町を含めた防衛線としての堀の役割を担っていたのが物部川（現千草川）と塩屋川（旧洲本川）でした。城、内町、外町の城下町全体を堀や川と土塁（土手）で囲む構造の城下町です。

内町と外町を分ける外堀の幅は十四間（約25m）もありました。今の堀端筋の道路幅が歩道も含めて約14mですから堀幅は現在の道路幅のなんと約2倍になります。江戸期の堀端筋の西のラインは現在の店先の並びと同じですから現在の店先から4・5mのところが堀岸になります。東のラインはほぼ厳島神社の境内の東端から淡陽信用組合敷地の東端を結ぶ線にあります。銀行が堀の上に建つて

洲本城下町の堀は三熊山麓の洲

いることになります。相当幅の広い堀であつたことが想像されま



図2 堀端と旧洲本川の交差点

外町のミライを描く 「まちおこし」

桜の名所・曲田山の
魅力倍増プロジェクト、始動！



よりあいそとまち「曲田山ぼんぼりチーム」では、外町の春のシンボルである曲田山の花見を活性化しようと、山の麓から頂上までぼんぼりを灯すプロジェクトをはじめました。まずは今年は、中央公民館横の曲田山登り口の桜並木に沿ってぼんぼりを灯します。

洲本サクラプロジェクト2025



2025年に大阪夢洲で開催される大阪・関西万博を契機に、曲田山を中心に2025本の桜を民間の力で植えるプロジェクトが立ち上りました。

プロジェクトへの協賛は、淡路島観光協会内事務局(Tel0799-25-5820)までお問い合わせください。

外町のシンボル 曲田山の桜とぼんぼり

曲田山の桜は昭和9年、旧洲本町が曲田山浄水場を建設した際に周辺に植えられるなどして、現在はソメイヨシノやサトザクラなど約580本が植わっています。しかし、その多くは老木となり、「淡路島で桜といえば曲田山」と評された昭和30~50年代の華やかさはなくなっています。でも、桜をなんとかしようと、いろいろな試みが立ち上がってきています。



よりあいそとまちのメンバーである山田宗宏さんをはじめとする第27期洲浜中学校3年4組卒業生が還暦を迎えた2018年より植樹が行われています。

2年目の2019年12月には、ソメイヨシノ5本とヤマザクラ5本を植樹しました。今後もこの植樹を年一回実施して、色々な人達が植樹を通してつながり、桜を目的に沢山の人が集う曲田山を目指していきたいとしています。



よりあいそとまち「曲田山ぼんぼりチーム」では、外町の春のシンボルである曲田山の花見を活性化しようと、山の麓から頂上までぼんぼりを灯すプロジェクトをはじめました。まずは今年は、中央公民館横の曲田山登り口の桜並木に沿ってぼんぼりを灯します。

洲本サクラプロジェクト2025



2025年に大阪夢洲で開催される大阪・関西万博を契機に、曲田山を中心に2025本の桜を民間の力で植えるプロジェクトが立ち上りました。

プロジェクトへの協賛は、淡路島観光協会内事務局(Tel0799-25-5820)までお問い合わせください。

橋を見てみましょう。塩屋橋と違った、立派な欄干付の橋です。現在の橋と同じような高い橋桁の橋と思われます。大雨が降ると塩屋橋は水に浸かってしまうか、流されてしまうような橋だったのでしょうか。一方物部橋は少々の大雨でも渡っていたと思われます。

城下町の道路

物部橋を渡つて城下町に入る道が右へ折れ曲がつて町中に入つて構造になつています。現在もこの名残が残っています。橋を渡ると八丁目の交番を右手に道が斜めに下つて商店街へ入つていきます。(図5)この折れ曲がつた道が城下町特有の道で江戸時代の名残です。これは四丁目枠形と同じ構造です。

さて、図1の絵図を見ると現在の八丁目の商店街は、通りに面して人の名前の書かれた区画が並んでいます。ここは、実は鉄砲組(足軽)の屋敷が並んでいたところで

因みに鉄砲組の屋敷地の道幅は三間(5・4m)、七丁目から五丁目までの道幅は二間二尺(4.2m)で道幅が武家地と町人町と道が斜めに下つて商店街へ入つていきます。この折れ曲がつた道が城下町特有の道で江戸時代の名残です。これは四丁目枠形と同じ構造です。

七丁目と書かれており江戸時代から商店街だったことが分かります。

八丁目と七丁目との境にしつかりと残っています。(図6)

一方、塩屋橋を渡つて城下町へ入ると現在の塩屋筋になりますが、そこには鉄砲組の屋敷に比べると大きな屋敷が並び屋敷の玄関は通りに面していないので、大きな屋敷の土塙ばかりが続きます。味地草の絵図では塩屋川への出口が塩屋出口とされており、城下町からの出口という意識だったよう

です。因みに、塩屋川を渡つた先

の塩屋には、藩の船蔵があり、船

蔵や船の管理をする水主たちの屋

敷がありました。塩屋橋は主に藩

の施設である船蔵への道として整

備され、塩屋村や炬口村の住人も

使用していたのではと考えられま

す。

以上のように見てくると、津名

や三原方面から城下町にやつて來

る人達の道は現在の山崎から中

島、出店を通つて物部橋を渡り城

下町へと入つたといえどでしょう。

物部橋から入り七丁目から一丁

目そして御城へと続く道が江戸時

代の街道筋だったようです。要す

るに、通町(とおりまち)といわ

れた一丁目から七丁目、そして物

部橋への道は江戸時代から城下町

のメインストリートだったのです。

七丁目から道幅が狭くなる

(つづく)

厳島神社宮司 浦上 雅史

す。

基本的には武家地の道幅は三間

以上、町人町の道幅は二間半以下

です。町を歩いていて途中から道

幅が少し狭くなれば、武家地から

町人町へ入つたことになります。

このような道は所々で見かけるこ

とができます。

町人町へ入つたことになります。

八丁目と七丁目との境にしつかり

で違います。その名残が現在も

残っています。(図6)

では違います。その名残が現在も

残っています。(図6)

外町のちょっとした自慢話！

外町には貴重なお庭がいっぱい! ～下屋敷庭園群～



になり、滝部が小池泉を形成して、遠近感を強くしています。滝石組は豪華で力強く、遠山石や水分石を据えて立体感もあります。池泉は括れから大きく広がっています。滝石組は現在涸れていますが、落水の滝で、曲田山からの流水を水溜に導いていました。

出島から二橋による切石橋が架かり、園内は回遊も可能です。護岸石組は、自然の岩盤を一部利用し、変化のある地割を構成しています。岩島も巧く据えて、池泉庭園ならではの景観を演出しています。

東部の流水式庭園は、近年整備されたのですが、庭園構成全体には違和感はありません。

江戸時代の地図では
となつており、西隣と
がついていたと考えられ
の庭園は埋められて
す。「割長屋」とあると
件の屋敷で、庭園は二分
考えられます。しかしこ
在では独立した庭園と
きます。

曲田山の自然石を活
人工的石組を加えた優
なっています。



旧益習館庭園以外は、個人・企業の庭園のため一般公開は行っておりません。

参考文献

- ・兵庫県の日本庭園(西桂)
- ・洲本城下・旧益習館庭園の考察(西桂)
- ・洲本市ホームページ等(洲本市)
- ・淡路島観光ガイド・あわじナビ(淡路島観光協会)

写真提供 洲本市教育委員会

現在、淡路信用金庫研修会館となつてゐる場所は、江戸時代には稻田氏の家臣津田氏が住んでいました。庭園もその当時のものです。

藩政時代はかなり重臣の邸であつたと推定されます。



日益習館庭園

日本最大級の巨石を用いた
豪壮な武

曲田山山裾の下屋敷通には、稻田氏の別荘や稻田家臣の屋敷がありました。曲田山を背景に屋敷ごとに庭園が築かれており、今も数庭が往時の姿を留めています。江戸時代の武家庭園が群となつて残存しているのは、全国的にも稀で、城下町時代の貴重な歴史文化遺産です。

曲田山の麓に連なる武家庭園



遍照院は1914年に地蔵寺が火災で焼失し、隣の青蓮寺と住職が掛け持ちであったため、敷地を合わせ新たに遍照院(本尊・弘法大師)ができました。

お盆送り火やお初大師などの行事だけではなく、阪神淡路大震災をきっかけに、沈んでいる町を笑いで明るくしたいと始めた「龍華寄席」や「お寺でジャズ」など積極的にイベントを催しているお寺です。

新高野山真言宗 遍照院

兵庫県洲本市栄町4丁目3-55 TEL 0799-22-0337



「寺町八ヶ寺」お寺を巡ろう！

本尊である愛染明王は内や外におこる争いをしめる大きい力を持っており、男女の恋にも手を差し伸べて下さい。薬師堂には洲本最古の薬師如来像をお祀りしています。

また、寺内の襖絵はすべて日本南画第一人者の直原玉青画伯氏の手によって描かれ、全室で鑑賞できる。殊に本堂欄間の弘法大師修行図絵は大作です。

高野山真言宗 玉青山 愛染院 千福寺

兵庫県洲本市栄町4丁目3-51
TEL 0799-22-3309
HP <https://www.senpukuji-awaji.com/>

魅力いっぱいの 外町を歩こう！



「魚食い」 ご用達の鮮魚店 鯛安

創業から70年、外町で40年以上店舗を構える鯛安さん。

洲本市由良港で水揚げされる鮮魚を中心に地元鮮魚店ならではの品が並びます。

特に刺身の豊富さは地域一番。「魚食い」と呼ばれる魚好きが毎日通う外町ご用達の鮮魚店。

その名の通り鯛は特にリーズナブルな価格で提供してくれます。

鯛安

〒656-0025 兵庫県洲本市本町6丁目2-9
TEL 0799-22-0383
営業時間／9:30～18:00
定休日／6日、16日、26日



①千草川の土手下の小路（画：山田 宗弘）



②下屋敷から弁天神社への小路



③八丁目から紺屋町へ清水町への小路

『外町の小路』 町歩きを楽しむ

現在の外町の道路は碁盤の目状に車が通行可能な道が通っています。しかしそれ以外にも、城下町当時からの静かな佇まいを残す小路やかつては商店が建ち並んだ小路など、近年店舗が増えているレトロな小路以外にもたくさんの中路があり、隠れた町歩きのルートです。



④仲山水から曲田山安覺寺への小路



⑤旧寺町駅前商店街であった小路



御菓子一筋80余年。 長手長栄堂 堀端本店

昭和5年から続く老舗である長手長栄堂さん。地元の名産である「なるとオレンジ」を使用した「あわじオレンジスティック」をはじめ、季節ごとにぴったりな色とりどりのお菓子が並びます。

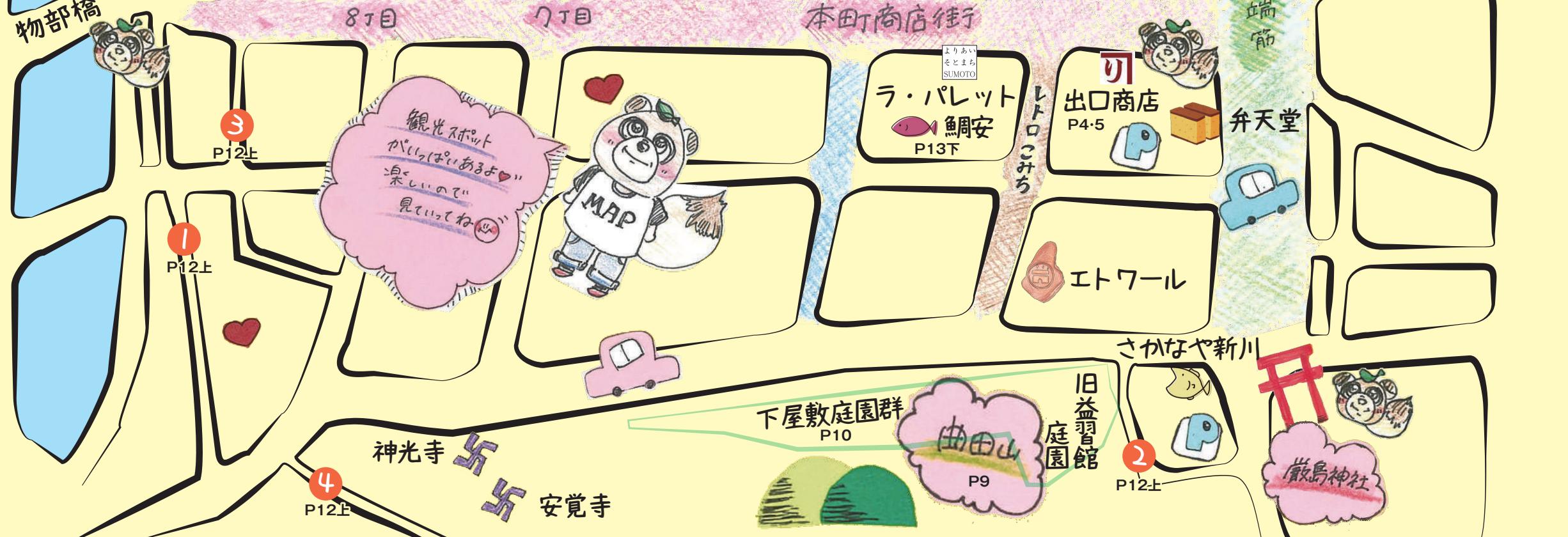
中でも親子三代で受け継がれてきた自家製餡の和菓子は絶品。原料へのこだわりだけでなく、気候や温度により水と砂糖のバランスを整え作り上げられる餡の味わいと出来栄えは、まさに職人技！

親子2代にわたって通うお客様も多く、そとまちでは是非とも紹介をしたい名店のひとつ。



長手長栄堂 堀端本店

兵庫県洲本市本町5丁目3-26
TEL 0799-24-1050
営業時間／9:00～19:00
定休日／不定休



参加できる よりあいそとまちSUMOTO

~イベント & ニュース~

よりあいそとまちSUMOTOから生まれた12チームの中から、島内・島外から誰でも参加ができるイベントが数多く生まれています。美味しいもの!楽しいもの!本格的なもの!外町の魅力を感じられる催しに、みなさんも是非、ご参加ください。



より☆そと市場に淡路島自慢の美味しい食材が集結します!

開催日
毎月第3土曜日

コモード・レインボープラザで朝から開催している「市場チーム」のイベント。洲本実業高校の学生たちがボランティアとして参加するだけでなく、大人気の揚げたて天ぷらは開催前から大行列し完売するなど、地域の方から愛される催しに成長しています。



曲田山のにぎわいを公園チームの「ぼんぼり」で取り戻します!

開催日
3月下旬~4月中旬

曲田山は、約580本ものソメイヨシノやサトザクラが植わっている、洲本市を代表する桜の名所。たくさん的人が賑わってきた最盛期の賑わいを取り戻すべく、装い新たな「ぼんぼり」や市民から集めた「俳句・短歌」でお花見シーズンを盛り上げます。



洲本の盆踊りは地域みんなのハッピーな一日をつくります!

開催日
8月14日(金)

昔、地域にあった盆踊りを復活させたい!地域の子どもたちや大人たちみんなで踊りたい!そんなメンバーの夢が2019年に実現。12年ぶりに盆踊りを開催することができました。外町地域の活気を生み出す恒例イベントの誕生です。



プロサッカーチーム FC淡路島が選手に会えるカフェ&バーをつくる!?

オープン日
5月を予定

「一度でも負けたら解散します」という覚悟とともに、アスパ五色をホームグラウンドに構えるサッカーチーム「FC淡路島」が2020年、スタッフ・選手とともに洲本市に完全移住を決定。コモード56商店街の「ラ・パレット」を選手に会えるカフェ&バーにするべく準備を進めています。

ソトヨリ発行元／よりあいそとまちSUMOTO「リトルプレス部会」

編集発行／洲本外町地域まちなか再生協議会

〒656-0025 兵庫県洲本市本町4-5-3 洲本商工会議所内
TEL 0799-22-2571 FAX 0799-24-1550

●本協議会は、兵庫県と洲本市の支援を受けて活動しています。

facebook
「よりあいそとまち」で
検索できます。

